

## 子どもたちがスポーツに親しむ機会を

### ロアツ熊本から小学校へボール寄贈

1月19日、熊本トヨタ自動車株式会社と株式会社アスリートクラブ熊本(ロアツくまもと)が共同で行う地域貢献事業「1ゴールアシスト5」プログラムの一環として、町内の小学校へサッカーボール計20球が寄贈されました。

当プログラムは、子どもたちがスポーツで健康になることを目的に、ロアツ熊本がリーグ戦で1ゴールあげるごとに5球を熊本県内の小学校へ寄贈しています。今回対象となった2021年は、39ゴール合計195球が県内の小学校へ贈呈されました。

アスリートクラブ熊本は「ボールを自由に使ってスポーツに触れ合い、子どもたちの健康的な心や身体づくりにいかしてほしい」と話しました。

▶左から、ロアツくん、佐藤町長、谷口教育長



▲力走を見せた南関町チーム

## 南関町が準優勝

### 第47回玉名駅伝大会

玉名郡体育協会は1月15日、和水町体育館をスタートゴールに第47回玉名駅伝大会を開催しました。

大会は、選手たちの力走により白熱したレースが展開され、南関町は準優勝しました。1区の黒肥地健琉さん、3区の津留健太郎さん、7区の渡辺重幸さんの3人が区間賞に輝きました。

今大会には、1市4町(玉名市は中学校区別)の男女混合8チームが出場。選手たちは、10区間41.5キロのコースを駆け抜けました。

1位	和水町チーム	2時間17分51秒
2位	南関町チーム	2時間22分59秒
3位	玉名市岱明チーム	2時間33分21秒

▶左から谷口教育長、西田さん、正川さん、小竹さん、森さん



## 九州大会出場を報告

### 南関中学校女子ソフトテニス部

南関中学校(永杉尚久校長)女子ソフトテニス部の小竹陽菜さん、森心春さん、正川愛咲さん、西田華菜さんが谷口教育長を表敬訪問し、12月26日に熊本県で開催された「第37回九州ジュニア選抜インドソフトテニス大会」への出場と、1月28～29日に熊本県で開催された「第15回全九州地域選抜中学校ソフトテニス大会」で、ベスト8の結果に輝いたことを報告しました。

大会を終えた選手たちは「九州大会で感じた課題や反省を生かしながら、これから一日一日を大切に練習に励み、次の大会でさらにレベルアップした姿を見せられるよう、チーム一丸となって頑張りたい」と今後の抱負を力強く述べました。

## 大切な文化財を守るために

### 南関御茶屋跡防火訓練

1月26日、国史跡豊前街道南関御茶屋跡で、御茶屋跡を管理する南関宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)や消防署員ら約20人が防火訓練を行いました。

毎年同日を文化財防火デーと定め、災害等から文化財を守るとともに、文化財愛護に関する意識向上を図っています。訓練では、御茶屋跡のファンヒーターからの出火を想定し、消防署への通報から避難誘導を行い、消防署員が放水するまでの一連の作業を確認。放水訓練後は、消防署員から初期消火の対応や消火器の使い方の講習を受けました。

宮尾会長は「大切な文化財を守るために常日頃から火の取り扱いには注意している。毎年訓練に取り組むことが重要」と話しました。



▶訓練に取り組む伝楽人



2時間後、笑いは感動に変わる。

いすー1グランプリ 熊本南関大会



▲表彰式

1位	木津川運輸	(116周)
2位	熊本大学スポーツ教育研究会	(95周)
3位	チーム大分鶴崎ハイ	(92周)

チームには高敏事務いすが贈呈されました。

いすー1GP熊本南関大会実行委員会(山崎彰悟実行委員長)は2月11日、2年ぶりに「いすー1グランプリ」を南関町商店街で開催しました。同グランプリは、1チーム3人で交代しながら、事務いすに乗り、商店街特設コースの周回数を競う2時間の耐久レースです。当日は、町内外から26チームが参加し、各チーム自慢のいすでレースに挑みました。

レース序盤はいすの操作に苦戦する様子も見られましたが、中盤以降はどの選手もいすを巧みに乗りこなし、華麗な滑りを見せました。2時間という過酷なレースに苦しい表情も見られましたが、観客からの声援もあり、全チーム完走することができました。

上位3チームには、商品として南関米やイチゴが贈られたほか、優勝チームには高敏事務いすが贈呈されました。

## 児童が税を学ぶ

### 町内各小学校で租税教室

玉名地区租税教育推進協議会(浦部真会長)では、次代を担う児童に税の意義や役割を正しく理解してもらい、社会の一員としての自覚を持った大人に育ってもらうために毎年租税教室を開催しています。

今年も役場税務住民課の職員や玉名税務署職員が町内小学校4校を訪問し、租税に関する授業を行いました。マグネットシートやDVD等を活用し、税金の使いみちや税金がなくなると自分たちの生活にどう影響するのか等を学びました。また、税金が使われているもの、使われていないものの選別や1億円の大きさや重さを感じてもらうため1億円のレプリカを持たせ、児童はその重さに驚いていました。

▶南関第1小学校で行った租税教室の様子



## みんなが安心して暮らせる町に

### 民生委員が厚生労働大臣表彰を受賞

12月13日に東京都の浅草公会堂で開催された「令和4年度全国社会福祉大会」で、南関町民生委員児童委員協議会(塩塚慶子会長)が長年にわたる団体活動と功績が認められ「民生委員優良活動団体 厚生労働大臣表彰」を受けました。

民生委員・児童委員は、地域で支援を必要とする人が福祉サービスなどを適切に利用できるよう、専門機関へのつなぎ役として相談に応じる人で、本町には民生委員・児童委員25人と児童福祉を専門とする主任児童委員2人の計27人が、厚生労働大臣から委託され各地区で活動しています。

会長の塩塚さんは「皆さんの協力あっての受賞で大変光栄。これからは委員一人ひとりができることをして、みんなが安心して生活できる町になれば」と話しました。



▶左から、南関町社会福祉協議会島崎局長、塩塚さん、佐藤町長